



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成24年1月～3月)

- 「憲法を学ぶ会」
主 催 生活協同組合OB九条の会
と き 平成24年1月20日
テ ー マ TPPで私たちの暮らしはどうなる？
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「農業担い手研修会」
主 催 幕別町
と き 平成24年1月25日
テ ー マ TPPと十勝農業
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「札幌市民カレッジ冬期講座」
主 催 札幌市教育委員会
と き 平成24年2月2日

- テ ー マ 北海道米・強さの秘密
講 演 (その1) 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「第98回村づくり・人づくり報徳研修会」
主 催 北海道報徳社
と き 平成24年2月3日
テ ー マ 二宮尊徳の実像と業績の現代的解釈
講 演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)
- 「リサイクル飼料試験結果検討会」
主 催 協同運輸株式会社 北海道中小企業支援センター
と き 平成24年2月3日
テ ー マ ブランドポーク生産の課題
話 題 提 供 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)
- 「平成23年度留萌管内地域づくりセミナー」
主 催 留萌開発建設部
と き 平成24年2月8日
テ ー マ 地域特産物を活かしたまちづくり
話 題 提 供 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)
- 「留萌中・北地域におけるICTを活かした地域づくりシンポジウム」
主 催 NPO法人グリーンテ

- と き クノバンク
平成24年2月9日
テ ー マ 過疎地域における担い手像
講 演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)
- 「札幌市民カレッジ冬期講座」
主 催 札幌市教育委員会
と き 平成24年2月9日
テ ー マ 北海道米・強さの秘密
講 演 (その2) 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「農協非常勤理事研修会」
主 催 青森県農業協同組合中央会
と き 平成24年2月15日
テ ー マ 二宮尊徳の思想に学ぶ
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「平岸九条の会学習会」
主 催 札幌市平岸九条の会
と き 平成24年2月19日
テ ー マ TPPで私たちの暮らしはどうなる？
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「初山別村「くらしを支えるネットワーク」研究会」
主 催 初山別村
と き 平成24年3月5日
テ ー マ くらしを支える多様なコメントーター 黒澤 不二男

- (当研究所・特別参与)
- 「厚沢部町『農に生きる6』講演会」
主 催 厚沢部町
と き 平成24年3月15日
テ ー マ 厚沢部町農業の現状と課題
講 演 正木 卓
(当研究所・専任研究員)
- 「平成23年度農事講習会」
主 催 忠類農業協同組合
と き 平成24年3月18日
テ ー マ TPP推進下における日本経済と北海道農業
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「平成23年度士別市農業講演会」
主 催 士別市・上川北農業共済組合
と き 平成24年3月21日
テ ー マ 地域農業振興における視点と留意点
講 演 黒河 功
(当研究所・副理事長・所長)
- 「日本の食と農業を考える会」
主 催 生活協同組合OB九条の会
と き 平成24年3月24日
テ ー マ TPPでどうなる日本？
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)

■お知らせ

「社団法人 北海道地域農業研究所」は、平成24年4月1日から「一般社団法人 北海道地域農業研究所」に名称変更いたしましたのでお知らせいたします。

人事異動

<退職・転出>

研究部長 和田 好充(3月31日付)
特別研究員 若尾 和夫(3月31日付) ※JA 共済連へ
専任研究員 須田 泰行(3月31日付)

<新任>

特別研究員 鷹田 秀一(3月1日付)
研究参与 入江 千晴(4月1日付)
特別研究員 田代 重彦(4月1日付)
特別研究員 中村 正士(4月1日付)

<昇格>

研究部長 遠藤 卓也(4月1日付) ※前 研究部次長

第22回(平成24年度)通常総会の開催

開催日時 平成24年5月25日(金) 午後1時より
開催場所 北農ビル19階 第2～4会議室
札幌市中央区北4条西1丁目
提出議題 議案第1号平成23年度事業報告並びに収支決算について
議案第2号平成24年度役員報酬額の決定について
議案第3号平成24年度会費の賦課及び徴収方法(案)について
議案第4号役員の選任について

通常総会 特別講演会の開催

開催日時 平成24年5月25日(金) 午後3時より(通常総会終了後)
開催場所 北農ビル19階 第2～4会議室
札幌市中央区北4条西1丁目
講演テーマ 「韓米 FTA と韓国農業の将来」
講師 韓国江原大学 農業資源経済学科
教授 李 ^イ ^{ビョン} 炳 ^{オク} 許

DATA FILE

北海道農政事務所
〒060-0004
札幌市中央区北4条西17丁目9-6
☎ 011(642)5413
FAX 011(612)9044

有限会社フードアトラス
〒060-0001
札幌市中央区北1条西3丁目
荒巻時計台ビル
☎・FAX 011(280)7557

北海道 水産林務部
〒060-4111
札幌市中央区北3条西6丁目
☎ 011(231)4111(代)

財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834
江別市文京台東町43-1
☎ 011(386)4331
FAX 011(387)1715

北海道岩見沢農業高等学校
〒068-0818
岩見沢市並木町1-5
☎ 0126(22)0130

関連事項/ DATA

新篠津村(農地・水・環境保全向上活動)
環境保全連絡協議会
〒068-1193
石狩郡新篠津村第47線北13番地 JAしんしのつ内)
☎ 0126(57)2311
FAX 0126(57)2047

クリーン農業センター
〒068-1193
石狩郡新篠津村第47線北12番地
☎・FAX 0126(58)3574

新篠津村役場
〒068-1193
石狩郡新篠津村第47線北13番地
☎ 0126(57)2111
FAX 0126(57)2226

北野農場
〒068-1124
石狩郡新篠津村第44線北55番地
☎ 0126(57)2452
FAX 0126(57)2460

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒062-0041
札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号
☎ 011(859)6010・FAX 011(852)6663
HP: <http://www.chikinouken.or.jp>

◆ 編集後記 ◆

●新しい年度がスタートした。世界の食料事情がどんどん変わり、飽食の時代は既に終わっている。「T P P」問題は正念場にかけている。

●「東日本大震災」から一年が経過した。未曾有の大災害だった。復興は、特に水産関係は遅延として進んではない。希望の見えない時間は耐え難く長い。この時間の中に被災者を置き去りにしてはならない。これからも暖かい応援を続けていこう。

●前号で「東日本大震災に係わる北海道の対応」について講演記事を掲載した。北海道の取り組みが理解された。今号では特に被害の大きかった水産業の復興支援などについての北海道の取り組みを掲載した。日本人の心の温かさを感じる。

●三月一五日 F T A (米韓自由貿易協定) が発効された。経済メリットはないといわれている。さらに農業は壊滅的と予想されている。

韓国国内での大規模な反対運動、四月の総選挙の争点にもなっているようだ。対岸の火事ではない。この動向や影響が日本の将来を決める。

●J A カレッジを紹介した。寮生活を含め一年間で生徒は大きく成長する。関係者の献身的な取り組みと苦労が伝わる。がんばれフレッシュ J A マン!

●農業高校の取り組みも紹介した。教育の中に日本の食料や、六次化、高い次元の品質管理、消費者目線での販売などが数多く加味されている。農業後継者や理解者が増えることを期待する。夢多き青年の群像だ。

●当研究所の新しい自主研究課題として「日本の食料はどうなるのか」を取り上げる。本道農業に関して、① T P P の影響、②人・農地問題について深く掘り下げ、農業の持続的発展のために政策提言の糧となるような研究を行いたい。

(小林 久人)